



さくらんぼだよ

5月号

令和元年5月8日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリーこども園

食育スタート！！“耕せ、耕せ命の土を、育て育て美味しい野菜！”

子ども達を楽しませた桜も終わり、今は、薄紅色のハナミズキや彩とりどりのパンジー、スイセンなどが咲き誇り、傍らには、冬越しをした玉ねぎ、そらまめがぐんぐん勢いよくのびています。そして、イチゴの小さな白い花も咲き始め、子ども達も楽しみが、また一つ増えてきています。

令和元年、私たちにとっても初めてとなった大型連休、お仕事をされている保護者の皆様にとっては、ゆっくり過ごせた方、また、休日保育を利用せざるを得なくなった方等、それぞれ色々な思いで過ごされたかと思えます。

子ども達も、新しい環境で何とか一ヶ月過ごし、やっと少ずつ慣れ、笑顔が見られるようになった頃に、長い休日。職員も、どうか私たちの顔を忘れないでね、と願うばかりでしたが……、今また、子ども達一人一人の気持ちを大事にくみ取り、寄り添いながら関わりを続けているところです。

畑では土の耕しも終わり、年長組のジャガイモ植えに続き、子育て支援センター“ちびゴリラのおへや”でも肥料袋を使ってのジャガイモ植えを行いました。初めて参加した地域の親子の方々は土づくり、そして肥料袋を使うことに驚きながらも大喜びで楽しんでいました。4歳児クラスでも、先日、ネギの種をポットに植えましたが、各クラス、野菜作りの計画が着々進み、クッキングや年間を通して旬を楽しめるよう、種や苗を用意しているところです。また新たな野菜にも挑戦するクラスがあり、職員も子ども達もどんなふうにできるのか今からワクワクドキドキしています。

子ども達と職員が草取りや水やりにも悪戦苦闘しながら育てている野菜、それを収穫して食べる喜びをおとうさん、おかあさん達にも一緒に感じてもらえればと思います。

2019・5・8 <園長 中館 和子>

おしらせ

* <保育参観・懇談会>

5月10日(金)・・・はらぺこあおむし組(4歳児)

5月22日(水)・・・がらがらどん組(3歳児)

5月28日(火)・・・ぐりとぐら組(2歳児)

保育参観・・・9:00～ 懇談会・・・13:00～



* 2歳児ぐりとぐら組の懇談会が始まりますが、日々の園での様子はビデオでご覧いただくようになります。このビデオに関しまして、個人情報の保護ということから、今年度より貸し出しはできないことになりました。懇談会は、年間で予定をお知らせしておりますので欠席をされないようお願い致します。尚、諸事情等で欠席された場合、ご希望があれば園内において観ることができますので、申し出てください。

おねがい

・保護者会費、主食代、絵本代等の集金袋等納入するときは、登園時から夕方6時までの間にお持ちください。6時以降になる場合は、翌日に納入するようお願いいたします。

行事予定

5月

日	曜日	行事
7	火	発育測定
8	水	おたより発行
10	金	4歳児保育参観・懇談会
14	火	誕生会・避難訓練
16	木	内科健診
22	水	3歳児保育参観・懇談会
28	火	2歳児懇談会

6月

日	曜日	行事
3	月	おたより発行
4	火	発育測定
6	木	1歳児懇談会
7	金	防犯訓練
11	火	避難訓練
12	水	歯科健診
18	火	誕生会
21	金	夏まつり実行委員会
25	火	手洗い指導 0歳児懇談会



開園以来19年目を迎えた4月、西多賀チェリー保育園は幼保連携型認定こども園として新たにスタートしました。そして、5月、「令和」に改元となり、時代の変遷を深く思うところがあります。“今”を平和な時の中で生きている私たちですが、平和な時代を築くまでに多くの人たちの犠牲や努力のあったこと、そのお陰で“今”があることを忘れてはいけなと思っています。西多賀チェリーこども園も、19年前、保育園としての開園に伴い基本理念、方針などを築くにあたり、多くの方々のお力添えを頂いてきました。そして、これまでにたくさんの職員がその基本理念に則って保育を行って来ました。その時代時代において、職員構成も色々変わることもありましたが、その都度、何が大事なのか、お互いに学びあいながら伝え合ってきました。そして、変えてはいけな大事なものを守りつつ、根底にある基本理念をもとに時代に合った新しいものを取り入れながら、今に至っています。

先日テレビでお礼も新しくなることが報道され、渋谷栄一氏のお孫さんに当たる方が出ていました。その時のお話の中で、その方が幼少のときに出会った新渡戸稲造氏に言われた言葉がその後の人生に大きく影響を及ぼしたということでした。それは、“今、あなたがこうしていられるということは、おとうさん、おかあさん、そして周りにはいる多くの人たちの支えがあるからですよ、それに、もし、おてんとさん(お日様)や酸素がなくなったら人は生きてはいけなんですよ、人は自分一人の力では生きてはいけな、自然の恵みや周りにはいる多くの人たちの中で生かして頂いているのですよ。”という言葉だったようです。人との触れ合い、自然からの豊かな恵みに日々触れることを大事にしている西多賀チェリーこども園の方針に通ずるものがあるように思えた瞬間でしたが、これこそ時代が変わっても決して変えてはいけなもののよう気がします。それはまさに子育てそのものともいえるのではないのでしょうか。今の社会では、昔と子育ての仕方が違うものね、ということをよく聞くことがあります。確かに社会全体が便利になった分、手間暇かけて子育てをするというよりは、合理的に済ませてしまう、ということがあります。しかし、人は生まれた瞬間から、多くの人に関わってもらって初めて、生きていける存在であると思います。皆さんと手を取り合いながら、手間ひまかけた子育てをしていけたらと思っています。



母と子の 絵本 棚

「いちご」 出版社 福音館

ひらやま かずこ さく



雪に埋もれたイチゴの苗。暖かくなって白い花が咲きました。園のイチゴそのままを描かれている絵本です。青い実はまだ、真っ赤になって「さあ、どうぞ！」といわれていただきます！食べる真似をしてみんなで楽しめる絵本です。

「くわずにようぼう」 出版社 福音館

福田 和子 再話 赤羽 末吉 絵



昔は、「こどもの日」といって、菖蒲の葉っぱをお風呂に入れたり頭に巻いたりという記憶があるのですが、今はあまり目にしないものだけに、伝えるのがちょっと難しさがあります。この絵本を通してよもぎ、菖蒲の事がちょっとでも伝わればという思いでこの時期、いつも読んでいる絵本です。ちょっと怖くてドキドキするお話ですが、子どもたちにとっては、それもまた楽しいお話となっています。

わらべうたであそぼう
♪つくしは ツンツン♪
つくしは ツンツン できるもんだ
〔両手人差し指を交互に上下させる〕
わらびは わらって できるもんだ
〔両手を合わせてあごの下でVの字に開く〕
お花が咲いたイメージでニコッ！
きのこは きのしたに できるもんだ
〔両手で大きな山を頭の上に作る〕
キノコの大きなカサをイメージして
しょうろは しょうろっと できるもんだ
〔両手でつぼみを作って胸の前で小さく〕
可愛らしく開く



版画
「のはらうた」くどう なおこ作より

